

ハチの巣の見分け方

スズメバチ類の巣

*コガタスズメバチ

- ・ 巣穴はひとつしかありません。
- ・ 色は茶色、白色などの混ざった縞模様。(マーブル模様)
- ・ 営巣初期の巣は、とっくりをひっくり返した様な形をしています。
- ・ 働きバチの数が増えるにつれて、だんだん大きなボール状の形になります。
- ・ 生垣の中や庭木、家の軒下に多く見られます。



*キイロスズメバチ

- ・ 巣の形状はコガタスズメバチとほぼ同じだが、巣の大きさが大きく、表面の縞模様がコガタスズメバチの巣に比べて細いです。
- ・ 営巣場所は軒下・樹木などの開放空間から、屋根裏・壁面の中などの閉鎖空間まで幅広く見られます。
- ・ 屋根瓦の中や外壁の隙間などからハチが出入りしている場合は、キイロスズメバチの巣がある可能性が高いです。



*オオスズメバチ

- ・ 地面の中(土中)や樹洞に何層にもわたる巣を作ります。
- ・ 自然環境に恵まれたところに多いです。(山、林、自然公園等)



アシナガバチ類の巣

巣の色は白濁色～灰色。

- ・ 真下から見ると六角形の巣穴がたくさん見えます。
- ・ 横から見ると平べったく、周りにハチがたくさんついています。
- ・ 多くが家の軒下、木の枝などに営巣するが、屋根瓦の下などに営巣する種類もあります。

